

太宰府中学校 1 学年だより No.21

R2.10.22 (水)

文責：石橋 眞子

太宰府中学校文化週間「太中祭」

ここには太中祭の写真を掲示しています。別途掲載しております

今週は「文化週間」です。各学年別での文化的活動が行われ、昨日は、1年生の部でした。

本来なら、この時期は文化祭のメインである「合唱コンクール」に向けて学級で練習したり、美術や家庭科、書道の作品をつくったりと、慌ただしくも充実した日々を過ごしていました。

今年は、残念なことに開催できませんが、このようなコロナ禍の中でも、皆さんが安心して楽しむことはないかと考え、これまでとは趣向を変えた取り組みを行うこととなりました。

「太中祭」と銘打った今年の文化祭は、次のようなことを行いました。

- ・各学級の紹介動画視聴（1年～3年までの全学級の紹介動画）
- ・クラスマッチ（グラウンドでのドッジボール大会）
- ・美術部や授業でつくった作品の展示見学



学級の紹介動画では、10月初旬から各学級でどのような作品をつくるか話し合い、小道具などを用意して、タブレットで撮影しました。

最初は「動画撮影とかできるのだろうか……」と先生達は不安で一杯でしたが、皆さんは様々なアイデアを出しあい、小道具も作成し、巧みな演出も取り入れながら、タブレットを上手に駆使して撮影していました。

さすが「令和の子どもたち」です。昭和生まれの私には到底考えられないようなことばかりで、皆さんの発想の豊かさと行動力に、非常に驚かされました。

当日は、自分の学級以外の動画も全て見ました。2年生や3年生の先輩方の作品を見て、どんな感想を持ちましたか。上級生らしい凝った作品ばかりで、とても面白い作品ばかりでしたね。

今月初旬から新人戦も行われ、新チームで練習しています。練習のレベルもあがり、厳しさも加わってくる中で、一緒に練習しながら皆さんを支えてくださる先輩の温かさを日々感じていると思います。動画を通して、改めて先輩のすごさを感じたのではないのでしょうか。

また、グラウンドで行われたクラスマッチでは、どの学級も大いに盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。日頃、マスクで覆われた不自由な生活を送っている中、思い切り外で駆け回ることができたので、ストレスもずいぶん発散されたことでしょう。改めて、今までの「当たり前」の生活のありがたさを感じたことと思います。

さらに、校内に展示された美術部の作品や授業で制作したものを見学しました。どの作品も丁寧に描かれており、普段の授業では見られない、皆さんのよさを感じることができました。

来年は、どのような文化祭が行われるのでしょうか。

コロナが終息して、元通りの生活が戻ったとき、「当たり前のことに感謝できる」思いが込められた文化祭ができるといいですね。